

【資料1】

令和2年度の取り組み状況

令和3年5月11日

大阪府四條畷市

令和2年度の取り組み状況

第1回四條畷市未来技術地域実装協議会 (R2.11.18)



令和2年度の取り組み状況

万博記念公園 (R2.10.22 R2.10.26)

- 自動運転車両を活用した次世代モビリティサービスの視察
- 小型自動運転EV 対話型アバターによるガイド等



令和2年度の取り組み状況

河内長野市南花台（R2.11.24）

- 南花台モビリティ「クルクル」 AI運行バス
- 乗降ポイントは電柱等 地域住民主体の運行



令和2年度の取り組み状況

スマートシティ推進フォーラム(第2回) R2.10.3

四條畷市 スマートシティ 推進フォーラム

参加無料

日時

10/3 (土)
14:00~16:00

場所

四條畷市立
グリーンホール田原

同時オンライン開催

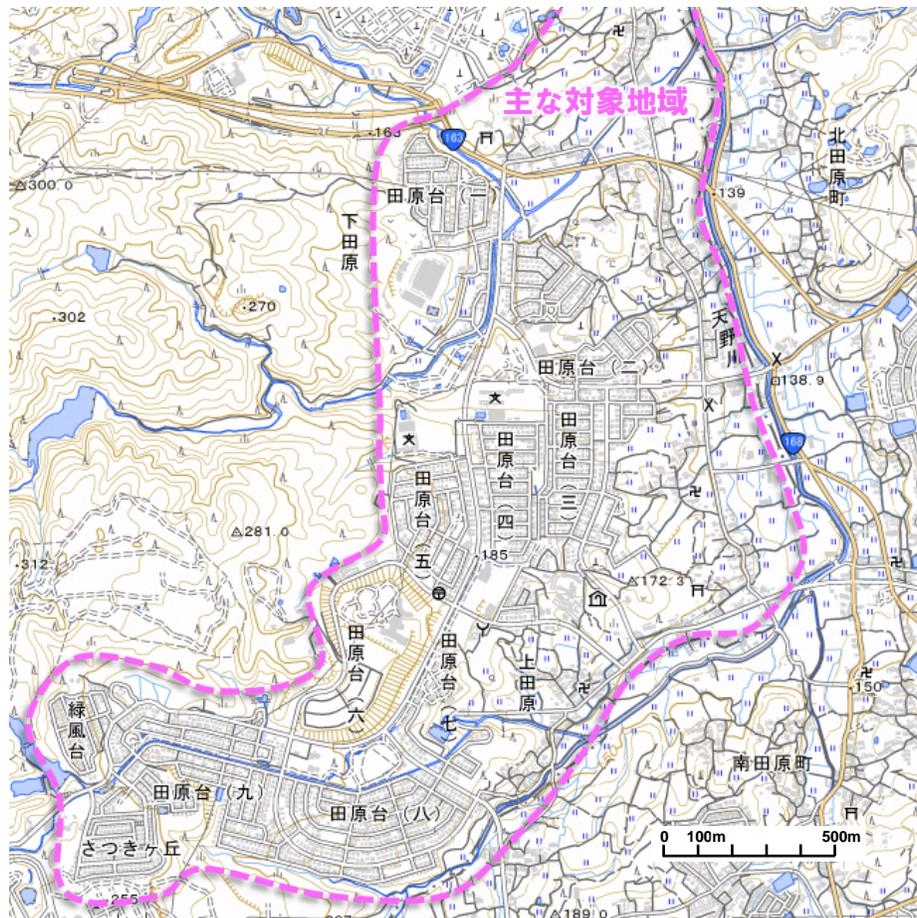
合計118人参加



令和2年度の取り組み状況

地域における移動手段に関するアンケート調査 (R2.12.14～R3.1.15)

■主なアンケート対象地域



■アンケート回答の回収状況

地区	人口※			アンケート回収結果			
	世帯数	人口	高齢化率	世帯数	回収率	回答者数	回収率
大字下田原	207	518	36.7%	58	28%	154	30%
大字上田原	263	530	36.8%	50	19%	112	21%
田原台一丁目	258	635	21.1%	60	23%	134	21%
田原台二丁目	280	784	18.4%	54	19%	124	16%
田原台三丁目	359	930	26.3%	95	26%	212	23%
田原台四丁目	253	665	27.8%	104	41%	243	37%
田原台五丁目	284	730	26.2%	62	22%	145	20%
田原台六丁目	120	310	1.0%	26	22%	59	19%
田原台七丁目	263	639	21.4%	72	27%	160	25%
田原台八丁目	446	1,220	21.9%	96	22%	241	20%
田原台九丁目	354	1,008	16.4%	82	23%	206	20%
さつきヶ丘	278	876	9.4%	110	40%	335	38%
緑風台	130	336	29.2%	36	28%	72	21%
(居住地無回答)	-	-	-	15	-	26	-
合計	3,495	9,181	22.2%	920	26%	2,223	24%

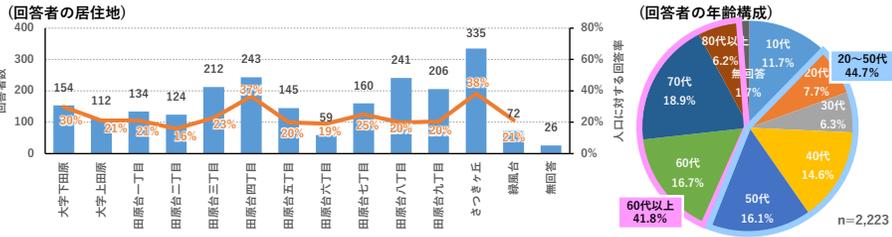
四條畷市 田原地域における移動手段に関するアンケート調査結果

1.調査概要

- 田原地域における課題の1つである「公共交通手段の確保・維持」の解決に向け、田原地域内の移動・外出状況や移動に対するニーズ、新たな移動手段の導入等についてアンケート調査を行いました。
- 対象：田原地域在住の方（上田原、下田原、田原台、緑風台、さつきヶ丘）
- 期間：令和2年12月14日(月曜日)～令和3年1月15日(金曜日)まで
- 方法：地区役員の方による各世帯へアンケート用紙の配布。郵送または地区の役員、田原支所へ提出。

2.回答者の属性

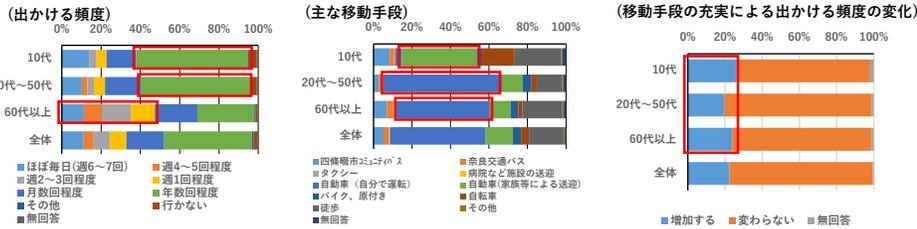
- 地域全体で920世帯、2,223名からアンケートの回答を収集。
- 居住地別では、回答者数、回答率ともにさつきヶ丘が最も多く、次いで田原台4丁目が多い。
- 年齢構成は、70代が18.9%と最も多く、次いで60代(16.7%)、50代(16.1%)の順。



3.田原地域内の主な拠点への現在の外出状況

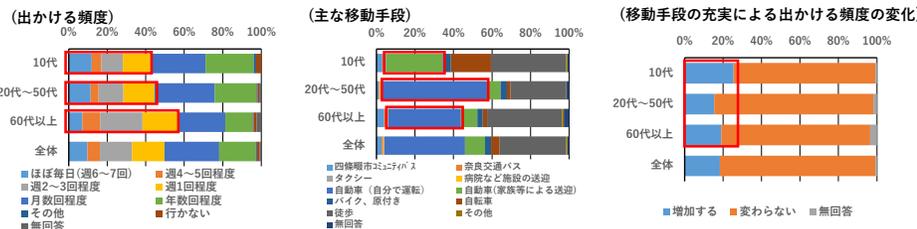
①グリーンホール田原・田原図書館 周辺

- 出かける頻度は、50代以下は約6割が「年数回程度」であるのに対し、60代以上は約5割が「週1回以上」。
- 移動手段は、10代の約4割が「家族等による送迎」、20代～50代の半数以上、60代以上の約半数が「自分で運転」。
- 地域内の移動手段の充実により、出かける頻度が「増加する」と回答したのは各世代とも約2割存在。



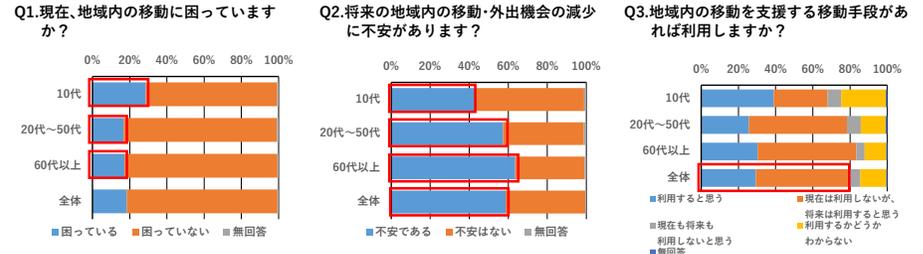
②田原台センター 周辺

- 出かける頻度は、「週1回以上」が全体で約5割、60代以上では約6割を占める。
- 移動手段は、10代の約3割が「家族等による送迎」、20代～50代の半数以上、60代以上の約4割が「自分で運転」。
- 地域内の移動手段の充実により、出かける頻度が「増加する」と回答したのは各世代とも約2割存在。



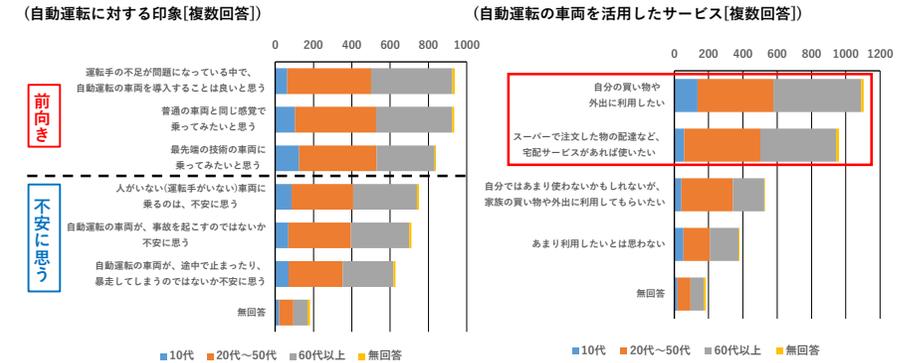
4.田原地域内の「移動」に対するニーズ

- 現状で地域内の移動に「困っている」方は、10代で約3割、20代以上で約2割存在する。
- 将来の移動・外出機会の減少については、全体の約6割が「不安である」と回答しており、世代が上がるにつれてその割合が高くなる。
- 地域内の新たな移動支援サービスに対し、全体の約8割が「利用する」または「将来は利用する」と回答。



5.新たな移動手段の導入について

- 自動運転に対する印象は、「乗ってみたい」、「運転手不足の問題に対して良いと思う」という前向きな意見が多い一方で、「不安に思う」意見も多く存在する。
- 自動運転車両を、「自分の外出に利用したい」が約5割と最も多く、次いで「宅配サービス」が約4割と多い。



参考：他地域で実施されている実証・実装車両



(大阪府 河内長野市など) (茨城県 境町など) (滋賀県 大津市など)

<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/30/34689.html> <https://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp/page/page002440.html> <https://www.city.otsu.lg.jp/shisei/koho/dekigoto/R2/35360.html>

令和2年度の取り組み状況

窓口業務、施設のキャッシュレス化の開始(令和2年10月～)

住民票発行通数ベース 約10%

QRコード



クレジットカード



電子マネー

